

## 今週の News

1. 2021 年度 JSURP 総会・シンポジウムの案内
2. 外国人支援の実行団体の内定
3. まちづくりカレッジ部会の活動紹介
4. 全まち熊本分科会の報告

### ■2021 年度 JSURP 総会・シンポジウムの案内

#### ◇第 20 回通常総会

2021 年度(第 20 回)通常総会・シンポジウムを 6 月 19 日(土) 13 時～15 時にフルオンライン方式で開催します。

#### ●通常総会「委任状・議決権行使」送付のお願い

正会員の方は 17 日(木)までに「委任状または議決権行使に関する返信」を協会事務局までお送り下さい。

#### ◇通常総会後のシンポジウム

テーマ：『これからの都市づくりとプランナー  
 ～多主体連携による新たな価値創造～』



#### ●開催概要

日時：6 月 19 日(土) 15:30～18:00  
 方式：axle 御茶の水ホールからオンライン配信  
 視聴：<https://jsurpsympo2021.peatix.com/>で申し込み  
 主催：日本都市計画家協会(後援：シティラボ東京)

#### ●プログラム

##### 第 1 部：企業連携まちづくり

ゲスト：李成一氏  
 (ボーダレスハウス株式会社 代表取締役社長)

##### 第 2 部：多様性まちづくり

ゲスト：金光敏氏  
 (Minami こども教室実行委員長 他)

##### 第 3 部：これからのまちづくりとプランナー

1 部、2 部の議論を踏まえてこれからの都市づくり・まちづくりプランナーの役割や職能 JSURP の活動展開のあり方について意見交換する。

ゲストコメンテーター：似内志朗氏  
 (ファシリティデザインラボ 代表)

登壇者：長谷川隆三(進行)、加藤孝明、山本俊哉、臂徹、園田聡、小林真幸、三谷繭子(JSURP)

### ■外国人支援の実行団体の内定！(山本副会長)

JSURP News210415 でもお知らせした休眠預金等を活用した外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成に向けた実行団体(支援団体)が内定しました。

本事業は、JSURP が公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)とコンソーシアムを組み、一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が公募した「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」事業に応募し資金配分団体として採択された、コロナ禍で生活困窮等に苦しむ、在留外国人を支援する団体(実行団体)を支援する中間支援団体(資金配分団体)として、地域で取り組む活動団体に資金支援するとともに活動の伴走支援を行うものです。

5 月 7 日までの募集に対して、全国から 17 団体の応募があり、5 月 16 日の有識者による審査会、5 月 26 日の理事会等を経て、以下の 7 団体が実行団体として内定されました。

事業名/団体名(活動地域)
学生・技能実習生対象「食・住・職」支援/特定非営利活動法人 OneSelf(兵庫県神戸市)
コロナ禍の脆弱な多言語コミュニティ支援/NPO 法人多文化フリースクールちば(千葉県四街道市)
大阪ミナミ地区ダイバーシティ社会形成事業/Minami ダイバーシティアクション(大阪府大阪市)
家なき人のシェアハウスと就労の場づくり/認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ(茨城県常総市)
コロナ禍における在日ムスリム緊急支援事業/特定非営利活動法人 Accept International(東京都中央区)
移住女性・家族が繋がる地域コミュニティ/公益財団法人 京都 YWCA(京都府京都市)
農作業で外国人が地元の農家さんをサポート/NPO 法人 Peace&Nature(兵庫県神戸市)

各団体の選定理由については、JSURP ホームページ <https://www.jsurrp.jp/> をご確認ください。

現在、6 月中に各団体の支援活動のスタートに向けて契約手続き等を進めているところです。

今後は、JANPIA からの助言も受けながら支援団体へのファンドレイジング(資金調達)の研修等も交えながら、伴走支援者を中心に、各団体の活動支援を 2 月まで行います。

なお、今回の支援活動の成果報告・交流会を、来年 1 月 29 日(土)に、公開での開催を予定しています。詳細は、追ってご案内します。

## ■まちづくりカレッジ部会の活動紹介（園田理事）

まちづくりカレッジ部会では、主に都市計画に関わる実務者向けに多様な分野の最新動向やノウハウを提供するJsurg まちづくりカレッジの企画、運営を行なっています。昨年度は、コロナ禍の中で初めて完全オンラインでの企画づくり、開催となりました。その中でも全4講座のそれぞれの特色・狙いを明確し、各講座で新たな運営や連携の試行を行いました。昨年度開催した4講座それぞれの狙いと講座テーマは以下の通りです。

- 1 狙い：全国の支部間連携の強化  
テーマ：地方に学ぶ観光まちづくりの今
- 2 狙い：Jsurg への関心の裾野拡大  
テーマ：草の根まちづくり最前線
- 3 狙い：他分野との領域横断  
テーマ：建築・都市の新しいビジネスの潮流 2020
- 4 狙い：学生への職能の周知  
テーマ：都市計画のリアルを知ろう

オンラインでの開催は企画側も不慣れであったため、事前の準備や当日の運営では部会メンバーやプロデューサーのみなさんに多大なご協力をいただく形となりましたが、それでもなんとか無事に全ての講座を予定通り開催することができました。ただ、昨年度はこの業界にかかわらずオンラインセミナーが乱立し、サービスの価格設定の相場も極端に低くなりました。カレッジも通常よりは値下げをしたものの相場よりは高めの料金設定であったため集客にはとても苦労しました。そんな中でも、オンラインだからこそそのメリットとして、支部連携講座の開催や全国各地の講師を招聘することが可能となりました。また受講者の方も東京に限らない都市からご参加いただけたことがありました。今年度も、6月時点の状況ではオンライン開催を余儀無くされることが濃厚であるため、企画段階から改めてテーマや料金の設定を綿密に計画していく必要があります。

本来であれば、まちづくりカレッジはJsurgの中でも収益を見込みやすい事業であり、企画自体もその価値を高める商品設計をして質の高い内容を提供することを目指してきました。その基本的な理念はオンラインになっても変わるものではないと考えていますので、昨年度の成果と課題を踏まえながらも新しい環境での価値提供を目指していきたいと考えています。

具体的には、昨年度同様に各講座の狙いは明確に定めてターゲットとなる客層や講師陣に対し、フィードバックを得られるような形で検討していきます。加えて、オンラインならではのコミュニケーションの取り方や運営方法を模索し、初秋には企画をリリース、秋から冬にかけてのカレッジ開催を想定しています。困難な状況ではありますが、できるだけポジティブに考え、部会メンバーの皆さんとともに、今だからこそチャレンジできる企画を検討し、会員の皆さんはもとより、業界関係者の方にとっても面白いコンテンツを提供したいと思います。

## ■全まち熊本分科会の報告（富士川理事）

2021年5月29日に開催した熊本分科会の結果報告

### ・概要

東日本大震災から10年になるが、この間大規模災害が多発している。熊本に於いても5年前に熊本地震、昨年人吉豪雨と、これまでに経験したことのない災害に見舞われた。そこで、熊本市中央区西唐人町では復旧工事を終えた町屋の中から、球磨村一勝地では復旧工事に着手しようとしている焼酎蔵の中から関係者の証言をまじえて「災害とは何か」「復興とは何か」を問いかけた。

### ・成果、課題など

熊本会場の周辺は『新町古町』と呼ばれる日頃からまちづくり活動の活発な地区であり、地震直後の初動期においていち早く地元の共助活動が発揮された。球磨村焼酎蔵においては同窓会（人吉高校・熊本大学・熊本高専八代キャンパス）のすばやい動きが再生への取り組みを支えていることが明らかにされた

・復興に向けたこれらの動きは、制度・政策にもとづく公的な復旧活動とともに不可欠な民間の活動であり、このような個別の自主的な活動をいかにオペレーションするかということが災害からの復興（特に初動期）における社会課題としてあげられる。



熊本会場《清永本店》



球磨村会場《淵田酒造本店》

## ■今月の予定

- ① 6月19日（土） 第20回通常総会
- ② 6月23日（水） 全まち部会
- ③ 6月28日（月） 地域主体のまちづくりフォーラム
- ④ 6月30日（水） 事業戦略委員会

## ■新しい事務局メンバーの紹介

6月1日より協会事務局を支える新メンバーとして増井知佳さんが正式に赴任されました。会員の皆様よろしくお願ひします。